

第3回 淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会 議事骨子

平成23年11月29日

開催日時：平成23年11月29日（火）14:00～16:30

開催場所：大阪市役所 P1会議室

第3回淀川左岸線（2期）事業に関する技術検討委員会を開催した。審議内容及び審議結果はつぎのとおり。

1. 審議内容及び審議結果

1) 説明内容

事務局から以下の内容を説明した。

- ・ 資料3-1に基づき、一体構造物の安全性の照査として、要求性能（確保機能）を定量的評価が「可能な項目」と「困難な項目」の分類し、定量的評価が可能な項目について先行的に2断面の検討を行い、「照査方法の妥当性」、「道路ボックス形状の比較」、「土留矢板残置の堤体への影響」を検討していく流れを説明した。
- ・ 資料3-2に基づき、各要求性能（確保機能）に対して、先行検討2断面での定量的評価結果と、その結果を踏まえた「道路ボックス形状の比較」、「仮設土留鋼矢板の取り扱い」について中間とりまとめを説明した。

2) 審議内容及び結果

- ・ 一体構造物の安全性の照査方法について審議され、先行検討2断面の評価をした上で、全線の安全性照査を行うという検討の流れが了承された。
- ・ 先行検討2断面の確保機能に対する評価結果が審議され、「平面2連を道路ボックス形状の基本形」として考える方針が確認された。
- ・ 仮設土留め鋼矢板の取り扱いについては、評価ができていない内容もあるため、引き続き検討を進める。
- ・ 今後、継続時間の長い地震動、縦断方向の検討、施工時の影響、矢板の長期的な健全性、維持管理など課題も残っているため、引き続き、各委員に指導を受けながら検討を進め、全線の安全性の照査を行う。

3) 今後の委員会スケジュールについて

- ・ 第4回の委員会では、全線の定量的な評価、一体構造物の施工法を議題とする。
- ・ 次回、委員会を年度末の3月頃目途に開催する。
- ・ ただし、多くの検討課題が出てきているため、期間を延期し、来年5月頃の完了を目指して検討を進める。

以上